9月 モニターレポート		担当出張所	桂川出張所
担当区間	桂川中流両岸		
羽束師橋~府道142号桂大橋(左右岸5.4~12.2km)			
モニター実施日時	モニター実施日時 令和元年9月3日 (火) 10時~13時10分		
天 候	晴れ(33度)		

(見出し)

今回は、桂大橋東詰(左岸)~久世橋(左岸)までをモニターしました。

途中、「桂川と天神川の背割り」を往復しました。

河川の様子、河川敷の様子、河川利用者の様子、ゴミの不法投棄の状況などについて報告します。

(内容)

今回は、桂大橋から下流に向かって、桂川の左岸を歩き始めました。

河川敷に下りて、すぐにグランドがあり、花火禁止、バーベキュー禁止の看板がありましたが、右岸には無かったゴルフ禁止の看板がありました。京都市設置のトイレもきれいな状態でした。又、保津川漁業協同組合設置のカワウ対策の看板もあり、魚道の整備と共に、鷺等の鳥も見受けられホット出来る空間を感じました。







少し進むと、石の塊魂がありましたが、何か分かりませんでした。歩く道は、きちんと舗装(アスファルト、 及びコンクリートまじりの道)されていて歩きやすかったのですが、高い雑草の為に川は見えない状態でした。 又、少し進むとテニスコートが二面あり、その横をジョギングされている人達がおられました。







歩いている内に、堤防に黒い網に覆われた木々が見られたので、登ってみると、サクラ養生中の看板があり、 そこは堤外児童公園へと繋がっていました。又、そこは広域避難場所として、京都市公園管理課の看板がありま したが、公園としての機能は勿論、避難場所として、いざという時には整備不足な様に思われました。













改めて、河川敷に戻るとそこからは砂利道に変わりJR、新幹線高架下を通る。看板は新しい表示がされていました。日本語は勿論、英語やハングル表示もされていました。桂川距離標11.0kmの道標。







河川敷は、行き止まりになり、上に上がるとそこは桂川と天神川の背割り堤で、桜並木が下流に向かって続いていました。片道15分位(往復30分)で歩く事が出来ますが、堤の先は行き止まりで引き返さなければなりません、天神川との合流地点になります。台風の影響で、木の枝が折れて注意表示のポットがあり、往来するには狭い道でしたが、桜の時期にはさぞかし賑やかで綺麗だと想像出来ます。







背割り堤を引き返し、さらに河川敷を先程の堤外児童公園にまで戻り、河川管理境界から天神川を経て久世 橋を目指しました。







途中には、ゴミの不法投棄も見受けられましたが、右岸に比べると少ないように思われました。堤外人道橋 を渡り、背割り堤を右に眺めながら歩くと、並木道の美しさが良く分かりました。天神川は、土手の工事中で、 京都府土木事務所 河川砂防室の看板がありました。







ようやく今日の目的地、久世橋が見えてきました。対岸から見る赤い樋門も美しく、テニスコートと川のせせらぎも、心やすらぐ気持ちにさせてくれます。







久世橋の下は、ジャッキアップの様になっていましたが、どうなんでしょうか。又、道路脇の自転車のロードマップが薄れて読めなくなっていました。







今回のモニターでは、定年退職されて自転車を始められた男性が早朝、木津から嵐山の間(片道約50km)を往復されていました。自転車道は良く整備されていて走りやすく、健康の為に続けて行きたいと仰っておられました。又、暑い中、営業で回っておられた男性は、公園の日陰のベンチで昼食を取られておられましたが、いつも小さい蚊取り線香を持ち歩いておられるそうです。ゴミの不法投棄は右岸に比べて、左岸の方が少ないように思われ、良く整備されている様に思えました。釣り人は、両岸共に散見されますが、草が多くなかなか川辺まで近付く事は、難しく思われました。

(意見・感想・処置等)

9月のレポートありがとうございました。桂大橋左岸には、桂川緑地公園があります。京都市南部みどり管理事務所が管理している公園になります。レポートに記載されている通り、テニスコートが2面もある大きな公園です。魚道の整備、鷺等の鳥、ジョギング中の人など、河川敷が憩いの場であることを嬉しく思います。草が伸びていましたね。草刈りは年2回されています。今度足を運ばれる時は、草刈りの後であれば、写る景色も又異なるかもしれません。

サクラ養成中は、昨年の台風により倒れたサクラの木の建直し復旧、養生を国土交通省淀川河川事務所桂川出張所が行っているものです。4本の桜の建て直しは完了しましたが、倒れている桜は、倒れた状態で養生完了し、散水しながら秋以降に立て直す予定です。

桂川で自転車を往復されている方の理由、営業中の方が昼食時の携帯品が蚊取り線香のお話は、桂 川が皆様にとって身近な存在である貴重な意見でした。ありがとうございます。

来月のレポートも、楽しみにしています。